



社協だより

敬老会・趣味の作品展



10月18日(木)・19日(金)に、小鹿野文化センターで敬老会の式典と小鹿野町老人クラブ連合会による第2部アトラクション、高齢者趣味の作品展が盛大に開催されました。

目次 ◆平成30年度会費実績報告…………… P2	◆いきいきサロン通信…………… P8
◆災害義援金報告…………… P3	◆敬老会アトラクション・作品展… P9～10
◆ボランティア体験プログラム作文 …… P4～8	◆イベント・交流ひろば…………… P11～12



◆ 社協だよりは、赤い羽根共同募金の分配をうけて発行しています。 ◆

平成30年度 社協会員会費実績報告

社会福祉協議会（社協）の会員増強運動に際しましては、町民の皆様をはじめ、各事業所の皆様等、多大なるご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。7月にご協力をいただきました社協会費について、下記のとおりご報告いたします。

一般会員・賛助会員

行政区	一般(口)	賛助(口)	金額(円)	行政区	一般(口)	賛助(口)	金額(円)	行政区	一般(口)	賛助(口)	金額(円)
小鹿野 1	75		37,500	長 若 6	40		20,000	倉 尾 1	28	2	16,000
2	199	4	103,500	7	25		12,500	2	27		13,500
3	202	2	103,000	8	9	1	5,500	3	24	2	14,000
4	34		17,000	9	21	1	11,500	4	23		11,500
5	10		5,000	10	36		18,000	5	18		9,000
6-1	55	2	29,500	11	33		16,500	6	19		9,500
6-2	73		36,500	12	18	1	10,000	7	23		11,500
7	70		35,000	13	38		19,000	8	20		10,000
8	270		135,000	14	22		11,000	小計	182	4	95,000
9	59	9	38,500	小計	388	15	209,000	両 神 1	93		46,500
10	158	8	87,000	三 田 川 1-1	81		40,500	2	112		56,000
11	107	17	70,500	1-2	79	6	45,500	3	92		46,000
12-1	62		31,000	2	65		32,500	4	98		49,000
12-2	121	2	62,500	3	51		25,500	5	43		21,500
13	69	12	46,500	4	39	3	22,500	6	34		17,000
14-1	33		16,500	5	21		10,500	7	29		14,500
14-2	40		20,000	6	42		21,000	8	15		7,500
15	27		13,500	7-1	17		8,500	9	64		32,000
小計	1,664	56	888,000	7-2	7		3,500	10	73		36,500
長 若 1	26	6	19,000	8	13		6,500	11	44		22,000
2	21		10,500	9	19		9,500	12	37		18,500
3	51		25,500	10	31	2	17,500	13	23		11,500
4	23	6	17,500	11	29		14,500	小計	757	0	378,500
5	25		12,500	12	25	2	14,500	その他(個人)	5	1	3,500
				小計	519	13	272,500	合計	3,515	89	1,846,500

特 別 会 員

(順不同)

会 社 名	口 数	金 額	会 社 名	口 数	金 額
巴精工株式会社秩父工場	様 2	10,000	ちちぶ農業協同組合小鹿野支店	様 6	30,000
丸京商事株式会社	様 2	10,000	株式会社トウ・プラス	様 2	10,000
埼玉りそな銀行小鹿野支店	様 4	20,000	株式会社秩父富士	様 10	50,000
宗教法人 法性寺	様 2	10,000	有限会社秩父ワイン	様 1	5,000
株式会社千島測量設計	様 1	5,000	鹿人コンクリート工業株式会社	様 2	10,000
田中精機株式会社	様 2	10,000	両神興業株式会社	様 2	10,000
西秩父水処理センター	様 1	5,000	株式会社岩崎工務店	様 1	5,000
タナカ技研	様 2	10,000	ニッケイ・インスツルメンツ株式会社	様 2	10,000
岩田組	様 1	5,000	松本興産株式会社	様 2	10,000
富山工務所	様 2	10,000	有限会社森林スマイル企画	様 2	10,000
埼玉信用組合小鹿野支店	様 2	10,000	株式会社ファクター工業	様 2	10,000
秩父エレクトロン株式会社	様 2	10,000	合 計	55	275,000

皆様からお寄せいただいた会費は、社協が進める「福祉のまちづくり」事業運営の財源として、大切に活用させていただいています。

前号に掲載しました赤十字会費（寄附金）で訂正がございますのでご報告申し上げます。
長若9区 金4,200円

平成30年大阪府北部地震災害義援金 平成30年7月豪雨災害義援金 平成30年北海道胆振東部地震災害義援金

今年は、自然災害による甚大な被害が各地で発生しました。被災された方々を支援することを目的に、多くの方から義援金をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。前回では7月31日までを報告しました。8月1日からの経過をご報告します。(10月17日まで)

平成30年7月豪雨災害義援金

(順不同・敬称略)

寄付者名	金額(円)
日赤奉仕団(七夕フェスティバル売上)	13,000
ヘルパーコスモスの会	10,000
上飯田青真会	10,000
民生・児童委員協議会	20,600
社会福祉協議会	14,000

募金箱	金額(円)
七夕フェスティバル	3,930
福祉課	10
町立病院	4,725
社会福祉協議会	47,678
小鹿野庁舎	977
両神庁舎	117
文化センター	348
両神図書館	1,131

7月豪雨災害義援金は8月31日を、大阪府北部地震災害義援金は9月30日をもちまして受け付けを終了いたしました。

心よりお礼申し上げます。

●7月豪雨災害義援金

総額355,158円

●大阪府北部地震災害義援金

総額 52,760円

平成30年大阪府北部地震災害義援金

(順不同・敬称略)

寄付者名	金額(円)
日赤奉仕団(七夕フェスティバル売上)	13,000

募金箱	金額(円)
七夕フェスティバル	870
社会福祉協議会	2,818
小鹿野庁舎	10

平成30年北海道胆振東部地震災害義援金

(順不同・敬称略)

寄付者名	金額(円)
(有)森林スマイル企画	30,000
奈倉女歌舞伎の会	30,000
中村 寿裕	10,000
匿名希望	10,000
匿名希望	5,015
匿名希望	8,697

募金箱	金額(円)
町立病院	888
福祉課	1,180
小鹿野庁舎	1,114
文化センター	790
社会福祉協議会	7,752
両神図書館	61

北海道胆振東部地震災害義援金は、11月30日で受付を終了いたしました。次号でご報告します。

歳末たすけあい募金

「歳末たすけあい運動」は、共同募金運動の一環として地域住民や関係機関・団体の協力のもと、新しい年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが、安心して暮らすことができるよう様々な福祉活動を重点的に展開するものです。

期 間

平成30年12月1日～31日

運動推進主体

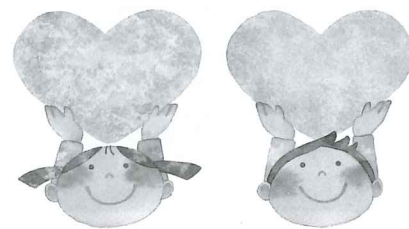
社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会、共同募金会

ご協力
おねがいします



ボランティア体験 プログラム事業

感想文



町内の中学生・高校生を中心に、延べ285名の方が、夏休み期間中に開催されたボランティア体験プログラムにご参加くださいました。

参加者の皆さんから寄せられた多くの感想文の中から一部となりますがご紹介いたします。

「人の役に立つ人間になりたい」

小鹿野中学校 2年 小田切 七絵

初めて来た時は、何をすれば良いかとか、話相手になった時、いったいどんな話をすれば盛り上がるかな、とかをずっと考えていました。でも、担当の方がとても丁寧に親切に色々教えてくれたので、自然と笑顔がでました。私は施設に訪れる事などめったに無く、すごく緊張していて、始めは上手く言葉に出なかった事もあり、どうしようかと思った事もあったけど、担当の方や周りの色々な方、友達などに聞いて助けてもらいました。施設を活用している、おじいちゃんおばあちゃんの優しい顔がいっぱい見られたし、めったに聞けない戦争の話を聞けて、貴重な時間を頂けました。皆、介護の人に面白い話をしてもらい、緊張していた空気が一気に変わり、温かい空気になった時、初めて人の役に立つ仕事が出来たいと感じました。

私は特に何も特技が無く、全部中途半端なままで終わるのがいつもでした。私が担当した部屋の人達はみな明るく楽しい雰囲気、あるおばあちゃんが言っていた話ですが、「いつまでも元気であり続けるのは大変だけど、努力をすれば何事も必ず叶う」と言っていました。私はその言葉を聞いた時、この人のように前向きな人が増えれば、多くの人がその言葉を思ってくれと感じました。前向きな人を造っていく中で一番大切なのは、私達みたいな、笑顔を作っていく人がいる事だと思います。

レクリエーションをする事によって、皆との協力の輪が広がる場所があるんだと思い感激しました。私も仲間に入ってやってみて感じたのは、皆さん大きな声を出し力強く、そしてなにより笑顔を抑える



ことない楽しい時間でした。私達も沢山の笑顔を見ました。レクの他にも、1階でラジオ体操などや、カラオケもやっていたのにビックリしましたし、楽しく歌を歌っている人もいました。それを見て私は、楽しそうだな、やりたいなと、何度も思ってしまうほど良い環境でした。

清掃で、モップや水拭きなどにも気を遣いました。水拭きでは、モップをかける時に床が濡れてしまうとかけにくいし、歩いた時に転ぶ危険性があると聞いていて、大丈夫かなと不安になりました。けれど、沢山の人ののおかげで1日を終える事ができました。

色々迷惑をかける所もあったけど、私の中で特に楽しかった1日でした。この1日で学ぶ事や覚える事は多かったけど、楽しく学ぶ事ができました。「また来てくれる？」と、声をかけてくれる人がいて、また行きたいな、と嬉しくなりました。夏休みの中で一番、特別な1日でした。きっとどんな仕事よりも人を笑顔にできる人こそが、役に立つ本当の意味です。

「ボランティア体験」

小鹿野中学校 3年 小鹿原 妃香

今まで私は、ボランティアという活動に参加したことがありませんでした。そんな私がボランティアに参加しようと思ったきっかけは、友達に誘われ、参加者募集の紙を見たことです。初めて参加募集の紙を見て、思っていた以上に種類があって驚きました。ボランティアというと、災害の場所に行って復興の手伝いというイメージが強くて、こんなに種類があると知りませんでした。沢山の種類の中で私が選んだボランティアは、「小鹿野学童クラブ」です。活動内容は夏休み中の小学生の相手でした。最初は誰も来てくれなかったけど、だんだん何人かの女の子が話しかけに来てくれて、その子たちとドッジボールやトランプをしました。小学生だから色々な遊びをするのかと思っていたら、学童にいる間はトランプやドッジボール遊び、ウォータースライダーなどで遊んでいると聞いて意外だと思いました。おやつ時間では、おむすび、スイカやかき氷など、色々な種類があって、かき氷は協力して機械を使っていたので、凄いと感しました。

このボランティアをやって、学童の先生の大変さが分かった気がします。私は社会体験学習で保育園に行き、園児と1日遊んだり大変だったけど、学童の方が大変でした。私が、ボランティアに行った時は、七夕祭りの準備もしていたので、とても忙しそうでした。小学生の相手をしながら、祭りの準備をしたり太鼓を教えていたりして、そんな先生がすごいと思いました。

ボランティアを通して、さまざまな体験をすることができました。子供たちの絆や自主性を高めるための先生たちの工夫を知ることができました。今後、ボランティアに積極的に取り組みたいです。ボランティアを行ったからといって、見返りを期待するのではなく、社会性を高めるために、さまざまなボランティアに取り組みたいです。



「ボランティアの大切さ」

小鹿野中学校 3年 高橋 優奈

私は、両神保育所でボランティアをさせていただきました。2時間半という短い時間でしたが、実際に保育士さんの仕事を見ることができ、そして体験したりと、とても有意義な時間を過ごすことができました。保育士さんの仕事は思っていたよりはるかに大変で肉体労働ということに驚きました。子どもたちが安全に楽しく伸び伸びと遊べる環境を作るために、努力や工夫を沢山していました。子どものことを第一に考える姿に感激しました。

私たちが、まず最初に行ったことは、プールの掃除です。地面が泥なので、洗っても洗っても汚れてしまい、片づけるのが大変でした。また、プールが大きく広がったので、余計に時間がかかってしまいました。けれど保育士さんたちは怒りもせず手伝ってくれて、優しいな、心にゆとりがあるなと思いました。一緒に作業をすることで、コミュニケーションをとることができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。また雨の降っている中の作業だったので少し疲れたけれど、それ以上に泥だらけになりながらもプールやシートを掃除するのが楽しかったので、濡れることなど何とも無かったです。

基本的には、子どもたちとふれ合うことは無かったけれど、見ていだけで幸せな気分になりました。無邪気で元気いっぱい遊んでいる子どもを見ると、疲れなど一気に吹っ飛びました。保育士さんたちは仕事をしていくうえで、辛いことや大変なことも沢山あるだろうけれど、子どもたちの笑顔で頑張っているのかなと思いました。私たちが休憩していると、子どもたちが寄ってきて、少し遊ぶことができるととても嬉しかったです。「お姉ちゃん遊ぼう。」と、大きな声で呼んでくれたことが印象的に残っています。子どもたちが元気に走りまわったり歌っていたりして、私も楽しくなってきました。小さい体を大きく広げながら、ラジオ体操をしている姿が、とてもかわいかったです。

ボランティアを通して働くことの大切さや楽しさなどが学べました。また、保育所だったので子どもの偉大さや、保育士さんのすごさがわかり、また1つの知識が増えたと思います。この活動を忘れずに、今後の生活に役立てていきたいです。このような素晴らしい経験をさせていただき、両神保育所の職員の皆さんには感謝でいっぱいです。

「ボランティアをふり返って」

小鹿野中学校 2年 武川 力也

僕は今回の夏休み、初めて自分から進んでボランティアをしました。初めての経験で驚いたことがあります。

まず、ゴミの量に驚きました。特に、タバコのゴミがすごく多かったです。他にも用水路にはビンやペットボトルのゴミ、お菓子のゴミなども捨ててありました。コンビニの近くには、レシートのゴミもたくさん落ちていました。「ゴミのポイ捨てすることがいけないこと」、このことを知らない人はいないと思います。それにも関わらず、平気で道や用水路にタバコのゴミや飲み物、食べ物のゴミを捨てる人が沢山いるということはすごく悪いことだと思います。

僕は自分が絶対にポイ捨てをしていないかと言われると、自信を持って「はい」と言うことができま

せん。正直なところ、いくつか心当たりがあります。「みんなゴミを捨ててるし、少しくらいゴミを捨てたって悪くはない。」そう思うこともいけないと思うけど、それだけではないと思います。周りの人達そのポイ捨てをしているのを目撃しているのに、注意をしなかったり見て見ぬふりをしたりなど、そういうことをしていることも、ポイ捨てがなくなる1つの原因だと思います。周りの人がポイ捨ては悪いことと分かっているが注意をしないことによって、ポイ捨ては多少なら平気だという状況をつくり出してしまっているのだと思います。

ポイ捨てというものをなくすには、ポイ捨てをしないようにする意識はもちろん、周りの人がポイ捨てを許さない状況をつくることも大事だと思います。ポイ捨てをしてしまうことにより環境を壊して自分たちを苦しめてしまうことにも繋がります。

僕は今回のボランティアを通して、これからはポイ捨ては絶対にやめようと思いました。それだけでは無く、周りの人がポイ捨てをしていたら注意をしたり、代わりにゴミを拾うこともしたいと思います。ゴミ拾いというとても地味な作業だったけれど、その中でポイ捨てがなかなか無くならないという現状など、たくさんの発見ができたので良かったと思います。これからも沢山のボランティアに参加して、もっと沢山のことを知ることのできるように頑張りたいです。

「災害時の炊き出し訓練」に参加して

小鹿野中学校 3年 中村 慎吾

私がこのボランティアを選んだ理由は、夏休み前に先生から、「1度やってみた方が良い」と言われ、何をやるか悩んでいたところ、たまたま記名する枠が空いていたからです。西日本豪雨のニュースも印象に残っていたので、選んだ後に、今後役に立つ内容ではないかと思いました。活動内容をよく読んでいなかったため、「災害時の炊き出し訓練」と聞いて、私がイメージしたのはテントの中で大きな鍋で作った汁物とおにぎりでした。当日、会場は外ではなく、そこに置いてある道具や材料を見て、私は「あれ」と思いました。そこにあったのは、米、卵、カレーの材料、少し大きい鍋、そして文字が書いてあるビニール袋でした。「鍋でご飯を炊き、普通にカレーを作るのかな。」と思いました。資料が配られ、そこには「ハイゼックスを使ったご飯」、「ハイゼックスを使ったオムレツ」と書かれていました。今回の炊き出しは、私がイメージしていたものとは全く違うものでした。

文字の書いてあるビニール袋は「ハイゼックス」という名前でした。「ハイゼックス」とは、特殊耐熱袋とも言い、強化ポリエチレンで出来ています。沸騰したお湯の中でも有害物質を出しません。1度に大量の炊飯ができる上、炊飯道具や茶碗などの道具がいらないので持ち運びが便利で、貴重な水を大量に使用できない災害場所や避難場所で、非常に有効な炊き出し法です。

私たちはまず、ハイゼックスに研いだ米と水を入れ、袋の空気を抜いて一番上の方で縛りました。次に沸騰したお湯の中に袋を入れ、45分から50分煮ました。炊き上がったご飯は袋の中で膨らみ、大きなおにぎりのようになっていました。味は普通に炊飯器で炊いた米と同じでした。ハイゼックスでオムレツも作りました。私はそちらの方が感動しました。作り方は全ての材料をハイゼックスに入れて、よく混ぜ空気を抜いて材料のすぐ上で縛り、沸騰したお湯で15分煮るというとても簡単なものでした。オムレツは丁度良い硬さでとても美味しかったです。ビニール袋でオムレツができることにとても驚きました。

指導してくださった方の話の中で、最近は異常気象で災害も多く、小鹿野町でも避難準備情報が出て、

実際に避難した人がいるという話が印象に残りました。今回の参加者は中学男子が多かったため、「若い男の子が積極的に動いてくれるのはとてもありがたい。」と言っていました。

実際に被災地へ行ってボランティアをする勇氣は私にはありませんが、自分たちの町で災害が起きた場合、私たち中学生も積極的に活動しなければならないと思いました。今回の訓練はとても良い経験になりました。

いきいきサロン通信

風邪をひかない
ようにしてくだ
さいね。
サロンでお待ち
しています！



秩父市大滝の「とちの木カフェ」にお邪魔しました。皆さん元気！元気！！



小さなソフトボールですが、握力から足首まで、生活に欠かせない多くの部位の体操ができます。



両神9区



倉尾7・8区

カレーを作っ
ていただきました。
大勢の皆さんと
のカレーの味は
格別です。

体調の悪いとき
は無理せずに体
をゆっくり休め
ましょう！



保健課から「インフルエンザ予防」についてお話しいただきました。

各地の集会場等をお借りして、地域の皆さんのご協力のもとで開催しています。
今回、ご紹介したのは一部の内容です。

いきいきサロンでは、簡単な体操やゲーム、お茶のみをして楽しく過ごしています。

地域の交流会を兼ねてカレーやけんちん汁などを作って、みんなで会食会をすることもありました♪

平成30年10月18日・19日の敬老会のアトラクションと高齢者趣味の作品展を、小鹿野町老人クラブ連合会の皆さんのお陰をもちまして盛大に開催することができました。

敬老会

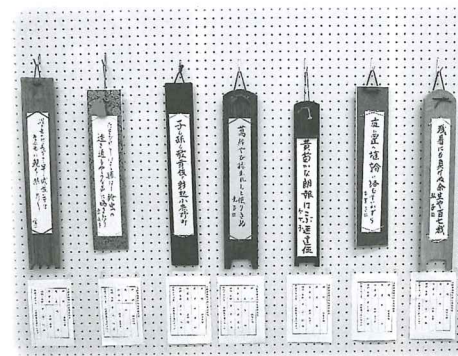
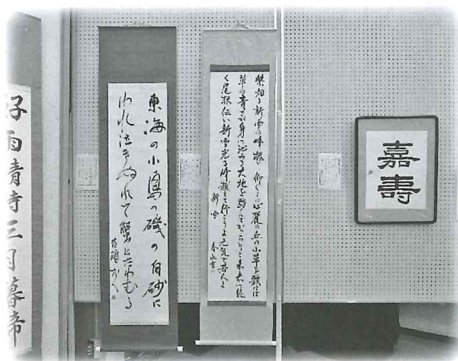
第二部アトラクション

唄や踊りなどをご披露いただき、普段の練習の成果を十二分に発揮していただきました。



高齢者趣味の作品展

110点もの出展作品があり、彩り豊かな作品の数々で会場が埋め尽くされました。



高齢者趣味の作品展には、2日間で200名以上の方が来場され、会場は大変賑やかになりました。今回、高齢者趣味の作品展に出展した中から10点の作品が、平成30年11月27日から4日間開催された県北趣味の作品展（熊谷市妻沼展示館）に出展いたしました。



10月26日(金)小鹿野町身体障害者福祉会の激励旅行で富士山レーダードーム館に行ってきました。富士山に吹く風の強さを体験したり、ランチはバイキングと会員の皆さんに楽しんでいただきました。



10月30日(火)熊谷ドームにて県老連スポーツ大会が開催されました。ゲートボールは1チーム参加し、総合5位に入賞しました。グラウンドゴルフは3チームが参加し、ホールインワンを出す方もいて、大健闘されました。



10月28日(日)健康ふれあいフェスティバルが町立病院と保健福祉センターを会場に開催されました。日赤奉仕団はすいとんの販売を、社協はポップコーンの販売や募金、小鹿野高校ボランティア部の皆さんも小物の販売など一緒にお手伝いをさせていただきました。



11月3日(土)ふるさとまつりが両神国民宿舎周辺で開催されました。日赤奉仕団はすいとんを、身障会は甘酒を、ふれあい作業所は、お赤飯やおやきや小物を販売しました。



ふれあい作業所

ふれあい作業所では、恒例の廃油せっけん作りを行いました。家庭等で出る食用油を寄附いただき、手作りの石けんを作って販売しています。よもぎが入っているのは、ここの石けんのオリジナルです。1個1個、形も大きさも違いますが、心をこめて作ってます。

石けん作りにはたくさんの牛乳パックが必要になります。空いた牛乳パックを回収しています。(解体しない状態)アルミ缶も引き続き回収しています。皆さんのご協力をお願いします！

1個入り50円
2個入り100円で
販売中!



配食サービス

配食サービスは、お弁当等を毎月1回、民生・児童委員さんに一人暮らしの高齢者の方に安否確認を兼ねてお届けしています。お弁当は手作りの時もあり、民児協、日赤奉仕団、虹の会、ヘルパーコスモスの会、料理ボランティアの皆さんにご協力をいただいています。メニューは当会の栄養士が、毎回皆さんに喜んでいただけるよう、愛情を込めて考えてます。

おいしそうに
揚がったね!



しいたけとさつまいも、
ちくわの天ぷらです♪

交流 ひろば



あたたかいお気持ちをありがとうございます

地域福祉に役立ててほしいと次の方々より寄附をいただきました。

柳原いち子様	シーツ類	匿名希望 様	衣類等
匿名希望 様	金10,000円	匿名希望 様	紙おむつ3箱
匿名希望 様	尿とりパット3袋	匿名希望 様	タオル類

お寄せいただいた寄附は、その趣旨にそって有効に活用させていただきます。

大人用 紙おむつ さしあげます

☆テープ止めタイプ
MかLサイズ
☆尿とりパット

※サイズ・数に限りがあります。



小鹿野高校ボランティア部

ペットボトルキャップ回収

社協玄関設置BOX回収結果

7月	22,403個
8月	37,711個
9月	19,178個

小鹿野高校ボランティア部は、キャップ回収を通じて地域との連携を広げ、深めたいと一生懸命活動しています。どうぞこれからも私達の活動にご協力をお願いします。



編集・発行

社会福祉法人 小鹿野町社会福祉協議会 小鹿野町小鹿野300番地(児童館内)

電話 75-4181 FAX 75-4561 <http://www.ogano-syakyo.or.jp/>